

Abstract

AROMA RESEARCH No.81(Vol.21 No.1)

香りを科学する 暮らしの中のユズの香りの機能性

沢村正義

<要旨>

ユズ (*Citrus junos* Tanaka) は 1300 年以上、日本人に長く親しまれてきた。独特の香りをもつユズ精油は食品香料および化粧品香料として広く利用されている。ユズ精油の効果を私たちは暮らしの中で価値を認めてきた。ユズは和食には必須の食材の一つである。その果汁にも精油が多く含まれている。ユズ精油には発ガン性物質である *N*-ニトロソジメチルアミンの生成抑制作用があることが示された。ユズ精油およびその主成分である D-リモネンには、ラディカル消去作用、抗炎症作用、抗ガン作用などが報告されている。搾汁後残渣の有効利用も行われてきた。アロマテラピー分野ではユズ精油およびその種子油に機能が報告され、和のアロマ基材としても注目されている。

<キーワード>

ユズ, 精油, 機能性, ニトロソジメチルアミン, 抗ガン活性